

特集 「健康が一番！」

びばりびり現役プロジェクト

市では、「特定健診受診率の向上」「がん検診受診率の向上」「高血圧・慢性腎臓病の予防」の大きな3つの目標を掲げ、生活習慣病予防に重点を置いた取組みを平成24年度から進めています。

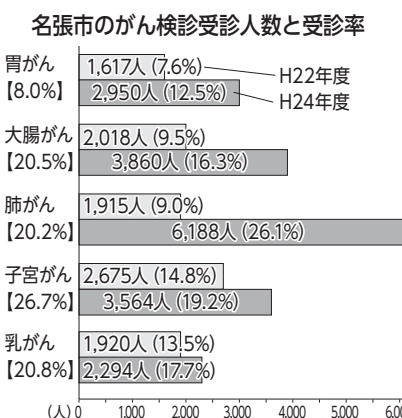
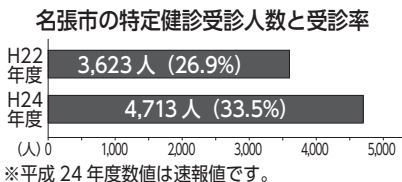
重症化してから医療機関を受診する人が多い名張市

名張市は、がんによる死亡率が県平均より高く、その一方でがん検診の受診率は低いという結果が出ています。そして、国民健康保険被保険者の高血圧や腎不全にかかる1人当たりの医療費を見ると県内14市の平均より高くなっています。このことから、市は、市民の皆さんが、重症化してから医療機関を受診する傾向があると分析しました。

そこで、平成24年度、市民の生活習慣病予防を目指し「特定健診の受診率の向上」「がん検診受診率の向上」「高血圧・慢性腎臓病の予防」の3つの目標を掲げ「生活習慣病予防重点プロジェクト」を立ち上げました。

料金改定や集団健診などで特定健診受診率が向上

特定健診受診率の向上を目指



※【】内は22年度県平均受診率
 ※24年度から、国保特定健診プラスの「胸部レントゲン」を2人の医師がチェックすることにより、肺がん検診受診としています。
 ※平成24年度数値は速報値です。

国保特定健診・がん検診の日程は・・・
 健康支援室 ☎63-6970
 市ホームページで確認いただくか、問い合わせ先へお電話ください。

市独自の「がん検診無料クーポン」発行

国は、全国的に受診率の低い乳がん、子宮頸がん、大腸がん検診の検診料を市町村とともに負担し、節目年齢の皆さんに無料クーポンを配布しています。

市では加えて、胃がん、肺がんについても節目年齢の皆さんに配布するほか、対象を拡大して子宮頸がん検診無料クーポンを平成24年度から配布しています。無料クーポン対象者に限っては、平成24年の受診率は、大腸がん乳がんが県内29市町村トップの受診率でした。また、三重大学医学部付属

し、平成24年度から、国保特定健診を500円、特定健診プラスを1000円と自己負担金を平成23年度の半額にしました。また、地域づくり組織の協力を得て、公民館などで初めて集団健診を実施。平成24年度の特定健診受診率は、33.5%(速報値)と平成22年度に比べ6.6ポイント上昇しました。

保健師の訪問や三重大学との連携による生活習慣病予防

市内では、人工透析患者が増加傾向にあります。また、治療に必要な高血圧の人が増えています。医療機関にかかるのが遅かったり、治療をしていても生活習慣が改善されなかったりすることが原因の一つと考えられます。

そこで、三重大学と連携し、生活習慣病予防の講演会を市内26カ所で開催したり、保健師が高血圧者159人に訪問指導を行ったりしました。また、公民館などで集団健診受診者に対して健診結果の見方や生活習慣改善指導を行いました。しかし、人工透析件数、治療の必要な高血圧者数ともに減少しておらず、継続した取組みが必要です。

病院との共同による予防啓発講演会を実施するなどし、平成24年度の受診率はすべてのがん検診で、平成22年度に比べ上昇しました。

地域や医療機関、関係機関に、より一層の連携をお願いし、生活習慣病の予防に取り組みます。



健康支援室 室長 西嶋 知子

平成22年度に比べ、国保特定健診受診率、がん検診受診率が向上しています。特定健診では、昨年度、初めて地域で集団健診を実施していただきましたが、受診者の約半分が今まで健診を受けていない人たちであり、一定の成果が出たと言えます。しかし、平成24年度の受診率は県内29市町中18位とまだまだ低い状況です。

今年度は、特定健診を受けたことがなく、しかも医療にもかかっていない人を対象に電話による受診のお勧めと未受診理由の聴き取りを行います。また、がん検診では、無料クーポンの年だけ受診してその後未受診の人がいますので、ダイレクトメールなどで定期的な受診の必要性を訴えています。生活習慣の改善、重症化予防は、一朝一夕

には実現できません。これからも、地域づくり組織や医療機関、関係機関に、より一層の連携をお願いし、生活習慣病の予防に取り組みます。市民の皆さんも自分の健康に関心を持ち、健診を受診したり、生活習慣を見直したりしてください。一緒に「いつまでも健康で生き生きと暮らせるまち名張」を目指しましょう。



市サッカー協会主催の「サッカー教室」を見学する保護者に、乳がんについての説明をする保健師